

東日本大震災復興支援  
第67回国民体育大会 バasketボール競技

MATCH No. 30F2

開催場所: 県立斐太高等学校体育館  
試合区分: 成年男子2回戦  
開催期日: 2012年9月30日(日)  
開始時間: 11:45

主審: 森元 隆之  
副審: 森田 将史



Team A <b>広島</b>	○ <b>64</b>	14 -1st- 19 16 -2nd- 12 18 -3rd- 14 16 -4th- 17	● <b>62</b>	Team B <b>新潟</b>
---------------------	----------------	--	----------------	---------------------

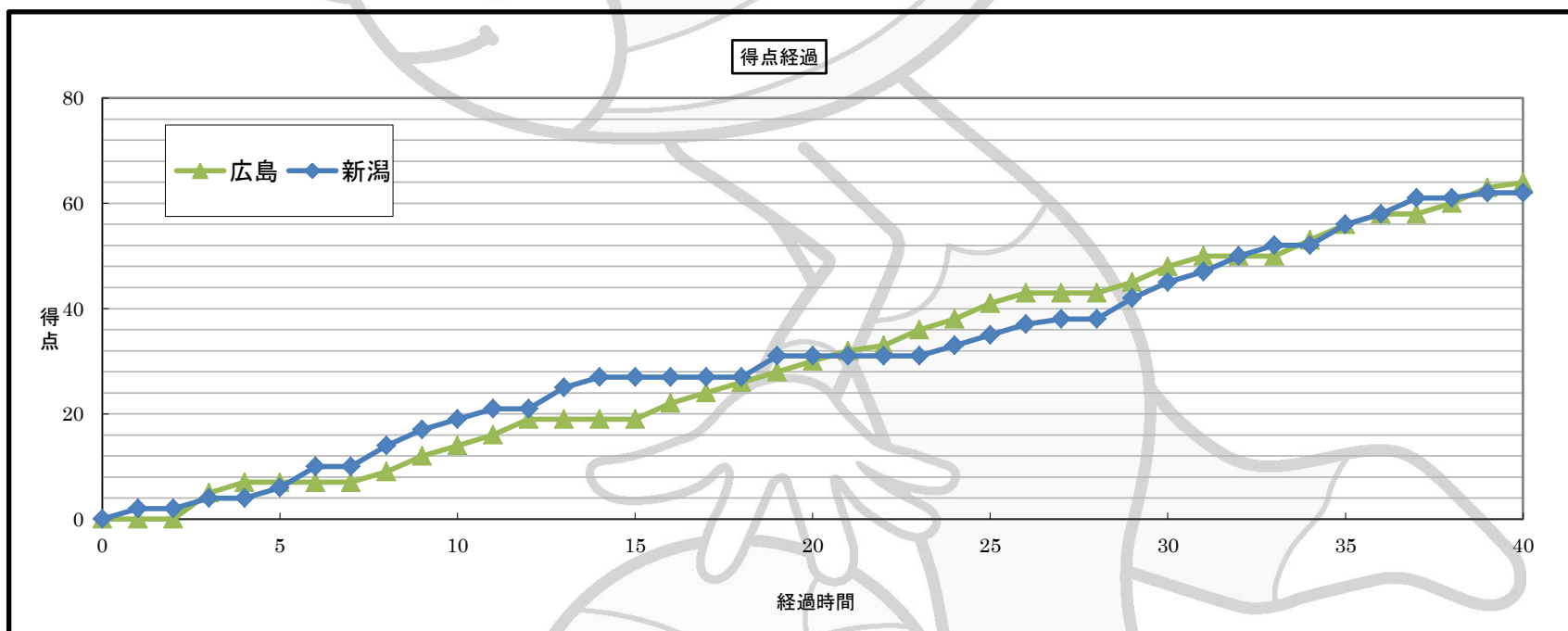
TEAM A		広島							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	廣本 純一	11	3	1	0	5	8	2
5	*	藤原 良晃(C)	3	0	1	1	2	2	5
6		川崎 雄峰	8	2	0	2	1	0	0
7	*	北本 幹雄	22	1	8	3	4	3	1
8	*	山根 佑太	0	0	0	0	4	5	1
9		橋本 真	0	0	0	0	0	1	0
10		濱田 和明	2	0	1	0	0	0	0
11	*	岡崎 修司	2	0	1	0	1	8	2
12		茶木 鉄也	3	1	0	0	1	0	0
13		上野 達郎	6	0	2	2	2	5	0
14		柘田 祐介	7	0	3	1	1	2	2
Coach		土橋 一美					0		
TOTAL			64	7	17	9	21	34	13

TEAM B		新潟							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	岩下 大志(C)	15	0	6	3	1	13	3
5		島 裕士	9	1	1	4	2	3	0
6	*	岩澤 裕也	7	1	2	0	2	11	0
7	*	田中 憂希	2	0	1	0	0	1	1
8	*	後藤 寛史	2	0	0	2	2	4	1
9		小沢 貴史	0	0	0	0	0	1	1
10		堺 紀人	3	0	1	1	2	4	0
11		高木 和幸	15	0	6	3	3	3	1
12		齋藤 康高	9	0	3	3	4	5	4
13		鈴木 大	-	-	-	-	-	-	-
14	*	山下 恵次	0	0	0	0	2	2	0
Coach		浦上 幸二郎					0		
TOTAL			62	2	20	16	18	47	11

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2
	13:05	-	36:23 38:31	-	-

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2
	11:44 19:06	38:49 39:15	39:57	-	-

\*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル R:リバウンド A:アシスト



2回戦, 広島対新潟。両チームともハーフマンツーマンでスタートする。立ち上がり広島の#7が連続7得点で先行する。5分経過後, 新潟はオールコートでディフェンスのプレッシャーを強め#4, #5, #11が得点をあげ14-19とする。2Qに入りしばらく均衡状態が続く。新潟は#11のスピードを生かしたバックドア, 広島は#13のインサイドのプレーが光る。広島はターンオーバーを繰り返すも, コツコツと得点を重ね30-31と互角の流れにし, 新潟1点リードで前半を折り返す。

3Q, 広島は激しいディフェンスから#7を中心に得点を重ね, 開始早々に逆転する。新潟は#4がリバウンドシュートなどで7得点, #5が3Pなどで5得点の活躍をみせる。双方譲らず48-45と緊張感ある展開となる。4Q, 新潟は#12の鮮やかなスティールからのレイアップなど2連続得点で同点に追いつく。広島は交代で出場した#6, #14, 新潟は#11が活躍し一進一退の攻防が続く。広島は残り1分に#4が3Pを決め再逆転。新潟は終盤タイムアウトを重ね, 逆転を狙う。残り2.9秒で2点差, 新潟#4がゴール下でファウルを誘い, フリースローを得たが入ることができず, 広島が64-62で3回戦進出を決めた。逆転に次ぐ逆転で最後まで白熱した好試合であった。

記載責任者 矢追 雄一 (所属) 岐阜県バスケットボール協会